

教育委員会の点検・評価（令和 7 年度対象）について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、全ての教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理執行状況について、学識経験者の知見を活用して、自己点検と評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

この度、群馬県教育ビジョン（第 4 期群馬県教育振興基本計画：以下「教育ビジョン」）に基づき作成した行政資料「ぐんまの教育 2025」に掲げた事業・取組及び指標について令和 7 年度の点検・評価を実施し、報告書がまとまったことから、議会に提出するものです。

1 令和 8 年度教育委員会の点検・評価（令和 7 年度対象）の結果概要

（1）成果

令和 7 年度に実施した事業・取組のうち、特に成果を挙げられたものは、以下のとおり。

- エージェンシーを発揮するための学びの推進（各種指定校等による取組）
- 県立高校改革の取組
- 小中学校デジタル基盤（校務支援システム等）の共通化
- 特別支援教育推進のための体制整備
- 県立学校施設整備
- 県立高校 tsukurun サテライトの設置

※その他、教育ビジョンの具現化に向け、「非認知能力の育成に係る群馬モデルの検討・普及に向けた取組の推進」や「群馬ならではのインクルーシブな教育の実現に向けた取組」など、児童生徒の主体性を育む取組を中心とした各種施策を積極的に推進しました。

（2）課題

令和 7 年度に実施した事業・取組に係る課題について、点検・評価委員会（後述）で挙げられたもののうち主なものは以下のとおり。（課題の詳細は、報告書の各重点政策まとめページ参照）

- 教職員の多忙解消
- 部活動改革推進事業
- 非認知能力の評価・育成に係る群馬モデルの検討・普及
- 県立学校体育館空調設置
- スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)の配置とスクールロイヤー(SL)の活用
- 地域と学校の連携・協働推進のための体制整備
- 青少年自立・再学習支援
- SOS の出し方に関する教育の推進

（3）指標の状況

各指標について、直近 3 年間の指標値の推移を踏まえ、「上昇」「横ばい」「下降」に分類しました。

《上昇：13 件（37.1%）、横ばい：22 件（62.9%）、下降：0 件（0%）》

（※指標の単位が割合（%）である項目を対象とし、それ以外の項目は対象外としました。対象外：35 件）

2 令和 8 年度の方角性について

教育委員会各所属が行った自己点検・評価を基に、教育ビジョンにおける重点政策ごとに

「令和 8 年度の方向性」を記載しました。

3 群馬県教育委員会の点検・評価委員会

「群馬県教育委員会の点検・評価委員会」を設置し、学識経験者（大学教授ほか計 5 名）からの意見を参考に点検・評価を行いました。

※各事業・取組の詳細については、各担当所属へお問い合わせをお願いします。

